

中学の広場

＜特集：これからの生徒指導に向けて～生徒指導提要令和4年12月改訂～＞



223号

大阪府公立中学校教育研究会

中学の広場

発行所：大阪府公立中学校教育研究会

二二三号（第六十一巻第二号）

これからの生徒指導に向けて～生徒指導提要令和4年12月改訂～

二〇二四年

あべの翔学高等学校



翔けあがろう、
未来へ。

特進Ⅰ類

奨学金
給付制度あり

特進Ⅱ類

奨学金
給付制度あり

普通進学

5つの専攻(2年次より)

看護・医療

幼児教育

NEW 情報

総合

スポーツ

専攻のみ
奨学金給付制度あり



あべの翔学高等学校
〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8-19
TEL:06-6719-2801(代表) FAX:06-6714-0045

JR/大阪メトロ
「天王寺」駅東口から徒歩12分

JR阪和線
「美草園」駅から徒歩8分

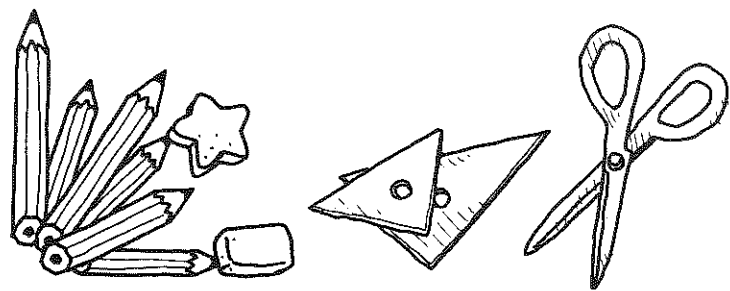
JR環状線
「寺田町」駅南口から徒歩9分

近鉄南大阪線
「河堀口」駅から徒歩2分

シティバス
天王寺南二丁目から徒歩2分

て、市内3校での「部活動」「教科指導」「学校規模ポジティブ行動支援」の実践報告に加え、本校での「不登校」「別室登校」にフォーカスした報告を行い、今の時代を生きたる本市の児童・生徒に向けてより良い効果が得られるよう大阪市立中学校教育研究会生活指導部として研鑽・実践を重ねていきます。PBSは即効性のあるものではありませんが、根気強く長期に計画を行うことで確かな成果が表れます。このような実践報告の場をいただいに感謝し、今回の実践報告がさまざまな課題をもつ児童・生徒への一助となり、学校で尽力されている先生方の原動力となることを切に願います。わりの言葉とさせていただきます。

大阪市立井高野中学校 首席 上田 奏



感謝

私は、高槻市の教員として働き始め3年目を迎えます。今年は何か新しいことに挑戦してみたいと思い、修学旅行の担当をすることにしました。

今の3年生は小6の時にコロナ禍で修学旅行に行けなかったもので、最高の思い出を作りたいと思っていました。私は普段から、旅行の計画等を立てることが好きだったので「なんとかできるだろう。」と思い込んでいました。しかし実際にやってみると、旅行会社との打合せや細部にわたる段取り等の変遷に気づき、途中で全てを投げ出したくなり、自信を失っていました。また、このままでは生徒たちに最高の思い出を作ることができないと焦りを感じ始めました。

そんな時、学年主任の先生をはじめ同じ学年の先生方が笑顔で「いつもありがとう。他に何か手伝うことはない？」と声をかけてくださりました。その瞬間、私は涙が出るほど嬉しい気持ちになりました。それから自信を取り戻し、無事に修学旅行を終えることができ、生徒たちも「最高の思い出ができた！」と言ってくれました。その時の達成感には忘れられません。

私は修学旅行の担当をして、とても良い経験をさせていただけました。学年の先生方にはとても感謝しています。また、新たな挑戦をして学び続け、成長していきたいです。

高槻市立芝谷中学校 教諭

学習指導のポイント

生徒の対話を促す理科授業

大阪府中学校理科教育研究会

1. はじめに

令和5年度の第70回全国中学校理科教育研究会の研究主題は「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」でした。それを受け、第12回近畿中学校理科教育研究会大阪大会、および、第21回大阪府中学校理科教育研究会研究発表大会の大会主題は「体験的な学習を重視しながら、意欲的に学ぶ力を育てる理科教育」としました。主題設定にあたり、「理科教育の充実には、日本の豊かな未来の創造に不可欠なもの。自然の事物・現象に対して『意欲的に探究する力』を育むことに重点をおく。」としました。

2. 府中理の主題設定とその理由

大阪府中学校理科教育研究会では「探究の過程における仮説設定の工夫」仮説設定シートを活用して科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する」をテーマに、授業と教材を

3. 生徒の実態

授業の入口である、「仮説」を考える際に、次のような課題が挙げられました。

ひとつは、「仮説」と言われても、何を書けばよいのか、どのように書けばよいのか、分からないことです。小学校では「予想」を立てる経験をしています。探究に至るには、必ずその単元の基礎的な知識や、知識をふまえて考える力、必要な情報を判断する力、他者に伝え表現する力が必要です。「仮説」のつくり方を教える必要があり、何も与えられていないところから「さあ考えてみましょう」と促されても、生徒はどうすればよいのかわかりませんでした。生徒が考えた「明日は雨になるだろう」に対して、「どうしてそう考えたの？根拠を述べてみよう」と促す必要がありました。

もうひとつは、次の展開のイメージがわかないことです。これは「なんとなく授業の内容はわかっているのだけ」と

いう曖昧な状態です。ICT機器の普及により、何でも調べればすぐわかる時代になりました。しかし、この「わかる」は、学んだあとの「わかる」とは違います。学ぶことの過程や、分かったときの喜びを「楽しい」「もっと学びたい」と生徒が感じることで、次の学習のサイクルが生まれます。「日本の上空には何と呼ばれる風が吹くかな?」「天気図から、いま日本の西側はどうなってる?」と、小さな「わかる」から、生徒の考えを引き出すようにしました。

最後に、間違えることが怖く、自信が持てないことです。生徒全員でその仮説を発表したり共有したりすることができず、一部の生徒だけが積極的に進んでしまおうという実態がありました。

4. 授業づくり

今回の授業では「気象予報士になろう」をテーマに授業実践を行いました。思考ツールであるバタフライマップを取り入れた探究シートを活用し、蝶の4枚の羽それぞれに、①今日の空、②今日の天気図、③今日の気象要素を根拠にした仮説、④実際どうであったかの振り返り、を書くようにしました。1時間目に今日の天気図を全員に配布し、個人で取組んだ後、6人一組の班で共有し、クラス全体で共有し、他の意見がないかよく聞く場面をつくりました。2時間目に、実際の結果がどうであったかを振り返りました。声に出さなくても、探究シートを見せ合うことができます。この時、教員から「南の等圧線は確認したかな?」「もっと考える必要があるのでは?」と声かけしていきました。「もうちょっと時間ください」と生徒の手が挙がると、そこではすでに対話が広

5. まとめ

全182名の生徒の振り返りのなかに「天気図を見ただけで仮説を立てることができなかった。次にこういう課題があったときは間違ってもいいから自分の意見を持つようにしましょう」と思う。雨が降る理由や風がなぜ吹くのかということをこの勉強をするまでは知らなかったけど、勉強したことでいろいろ新しいことが分かった。この知識は日常生活で使えると思うから生かしていきたい。(ID140)や、「今の単元を自分が理解していると思っていなかったけど、みんなの前で発表できたくらい理解することができていて、驚いたし、少し自信がついた。(ID128)」と書かれているものもありました。

私の考える、理科における学習指導のポイントは「生徒の対話を促す授業」をつくることであり、それはいつでも、生徒の笑顔や自信のもとに成り立ちます。今回の授業では、仮説設定および共有化の場面が、生徒の主體的な活動や考えを促進し、上手く調和したと考えられます。目の前の生徒一人ひとりをしっかり見て、理科に限らず多くの先生方と授業づくりを共有し、今後も笑顔で学び続ける姿勢を大切にしたいと思います。

大阪市立東中学校 指導教諭 横矢 恵里

がっています。「西には低気圧があるけど、進む速さが遅い?」「南の前線の動きが気になる」と、一つのヒントから様々な考えが浮かび、「間違えても大丈夫」と安心感が生まれたころに、指示棒をもって前に立つことで、気象予報士になりきって発表できるようになりました。

生徒の振り返りには、次のようなものがありました。「今は何でもすぐに調べることができるといいけれど、自分で天気について考えてみて面白かったし、思っていたより難しいと思っただ。天気図をヒントにするとたくさん読み取れる情報があることも理解できたし、その天気図によって考えられる予想がたくさんあることがよく分かった。(ID65)」スマホで簡単に明日の天気は「わかる」けれど、この生徒は学ぶことによって「わかる」ことを実感したようでした。他にも、「天気図一枚から明日の天気を予想するのは、すごく難しかった。当たり前のように見えていた天気予報も気象予報士の人が毎日やってくれていて、予報が当たっていることが多いので、すごいなと思った。自分でも明日の天気が完璧にわかるようになりたいと思った。(ID177)」と、職業の視点をもつ生徒もいました。「授業で学習したことを使って天気を予想することができ、いよいよ理科が日常生活に利用できるようになってきたことが実感できてよかった。(ID89)」飛行機を撮るとき風の向きなどを気にするので、学んだ知識をうまく活用していきたい。(ID188)」中学校学習指導要領では、理科改訂の要点として「理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める視点から、日常生活や社会との関連を重視した。」とあります。生徒が理科を身近なものと感じることが、重要であることも指摘されています。



学校法人 玉手山学園
関西福祉科学大学高等学校
夢と志 Dreams & Wills
特別進学Iコース 進学コース
特別進学IIコース 保育進学コース
TEL 072-976-1112
〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号
併設校 関西福祉科学大学 / 関西女子短期大学 / 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園
近鉄大阪線「河内国分駅」より徒歩約12分
近鉄南大阪線「古市駅」よりスクールバス約20分
JR大和路線「高井田駅」よりスクールバス約10分
学校ホームページ 学校紹介PV

特集

これからの生徒指導に向けて～生徒指導提要令和4年12月改訂～

表紙 森崎太輔

巻頭言 堤 周作

学校紹介グラビア 島本町立第二中学校・東大阪市立縄手中学校
和泉市立富秋中学校・小中一貫須賀の森学園大阪市立淡路中学校

巻頭論文 家村憲治 (7)

指導理論 清水隆寛 (14)

実践報告 これからの生徒指導に向けて～生徒指導提要令和4年12月改訂～ … (19)

学習指導のポイント 大阪府中学校理科教育研究会 (57)

研究学校 守口市立さつき学園・岸和田市立野村中学校 (60)

研究会だより 摂津市小中学校生活指導研究協議会 (64)

PTA活動 市枝清貴・鈴木晃子・三宅一弘・瀬脇由衣 (67)

PTA会員の声 依田茂久・丸塚真二・稲垣聡子・津村早苗 (71)

管理職コーナー 田中彰治 (75)

思春期の子どもへの対応 山口廣治 (78)

◎エッセイ 三宅則由 (81)

◎図書紹介 梶谷彰信 (82)

詩 青山 麗 (84)

海外教育事情 川口吉祥 (86)

他府県視察 堤 周作 (89)

学びのオアシス (94)

座談会 これからの生徒指導に向けて～生徒指導提要令和4年12月改訂～ … (98)

教育長シリーズ 堺市教育委員会教育長 栗井明彦 (108)

ちょっとひとことコーナー (46) (56) (61) (66) (80) (85) (88) (111)

編集後記・表紙のことば (114)



小中一貫須賀の森学園
大阪市立淡路中学校

本校は、平成28年、校区の2小学校の統合に伴い、隣接する西淡路小学校とともに隣接型小中一貫「須賀の森学園」として誕生し、早8年目を迎えています。

この間、小中一貫して人権を基盤とした教育を推進し「心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の育成」を学校教育目標に掲げ、さまざまな取組みを進めてきました。

須賀の森学園が
めざす子ども像

- 【あ】… 明るくあいさつができる。
(基本的生活習慣の確率)
- 【わ】… わかるまで、できるまで努力する。
(粘り強く学習に取り組む姿勢の育成)
- 【じ】… 自分を大切に、人を大切に、命・平和を大切に。
(人権尊重の教育の推進)

小中一貫の取組みの一例

6年生登校日



須賀の森クラブトライ



その他、本校の体育館や運動場等で、適宜小学校児童が体育活動を行ったり、本校の草地で自然観察や理科の観察授業を行ったりして、隣接型の特徴を生かした取組みを進めています。

一方で、小中の教職員交流も両校の全教職員の兼務発令のもと、合同研修会の実施や日々授業交流を行い、9年間を見据えた一貫した教育活動を展開しています。

サークル活動

部落問題研究会



国際クラブ
(朝鮮文化研究会)



障がい児・者
問題研究会



国際クラブ
(国際文化研究会)



本校の大きな特徴として、サークル活動があります。人権教育・多文化共生教育・国際理解教育推進の一環として、部活動とは別に毎週水曜日を五者(掲載の4サークルに生徒会を加え五者とする)活動の日と定め、サークル活動を行うことで、生徒たちはさまざまな立場の仲間とともに、「互いに違いを認めあい、尊重し高めあう生徒集団」として、豊かな学校生活を送っています。